180 号

# 田和山の森から

令和元年 9 月 6 日
発行　里山を育てる会
不定期刊行

## 会　員　通　信 180　号

180 号となりました。第 1 号を 2002 年 12 月 6 日に発行してから、間もなく 17 年が経ちます。皆さんのご協力のお蔭で今日まで継続できたこと有難く思います。　第 1 号の記事の中に「・・・里山を育てる会が発足してから、天候の悪い日が続きましたが、最近になり作業に参加する人が少しずつ増え、順調に整備が進み、入口付近が随分明るくなりました。来春は、いろんな植物が芽を出してくれるのではないかと期待し、里山づくりの夢が一段と膨らみます。この先、長い道のりかもしれませんが、無理せず楽しく活動を続けたいものです。・・・」とあり、当時のようすが読み取れます。この通信も、いつまで続くか解りませんが、もう少し頑張りたいと思いますので皆さんのご協力をお願い致します。

## 田 和 山 の 樹 木 第3回

今回紹介するのはスギです。田和山の針葉樹を代表するのは本数、材積からしてスギになるのではないでしょうか。スギ林といえるのは田和山では、3 カ所合わせ約 0.3 ヘクタールぐらいになるのではないでしょうか。林令は 40 年から 50 年生ぐらいですから戦後に植栽されたものと思われます。

写　真　1

スギは、壮齢期まではきれいな円錐形の形状で(写真 1)、遠目で見ても一目で区別できるのではないでしょうか。しかし、年数が経つと成長が鈍り先端が丸みを帯びて、樹冠の形が変わってきます。(写真 2)樹皮は細長く縦列し、網目状(写真 3)になってきます。材の性質は、割りやすく大昔から割るという加工によって利用されてきました。割り箸が一番身近です(割り箸は割ってつくられているから割って使える)。古くからなじまれてきたスギですが、この 30 年は、花粉症の元凶として嫌われていますが、日本を代表する樹木であり、日本文化にはなくてはならない材木であることを再認識すべきではないでしょうか。(遠山富太郎「杉のきた道」中公新書をお読み下さい)

写　真　2

写　真　3

## 最 近 の 作 業

今年の夏は、猛暑と雨降りで計画通りの作業ができませんでした。公民館行事のため作った樋を利用し、作業後のそーめん流しを食べるのも雨で流れ、納涼会も今年は中止となりました。幸い公民館の子ども達の行事は予定通り実施でき何よりでした。先月は、休憩所の長椅子補修や道路沿いの除草が主な作業となりました。

テーブル用の長椅子作り

出来上がった休憩所

水道路側の草刈り

### 今後の活動予定

9 月 6 日（金）9：00～、13 日（金）9：000～、21 日（土）9：00～、27 日（金）9：00～
10 月 4 日（金）13：30～、11 日（金）13：30～、19 日（土）9：00～、25 日（金）13：30～
※9 月も引き続き 9 時から、10 月からは第 3 週を除き 13 時 30 分からとなりますのでよろしくお願いします。